



H
TOYAMA
ISHIKAWA
FUKUI
RIKU



C O N T E N T S

No. 205

トップ対談 国土強靱化がつくる明るい未来
京都大学大学院 教授 藤井 聡氏

2

総 会

平成25年度 定期総会 特別講演: 金 美齡氏(評論家・元台湾総統府国策顧問)

6

委員会活動

「北陸新幹線」建設促進に向けて

12

富山県並行在来線利用促進協議会

16

第1回 広域観光推進委員会の開催

17

そ の 他

イノベーション推進事業部だより

18

被災地ボランティアバス「西経協号」

19

会員サービスの向上にむけて

21

「昇龍道春夏秋冬百選」選定

22

主要経済指標

26

平成25年春の叙勲受章者

28

北経連日誌 (4月・5月・6月)

28

新会員紹介

29

会員異動

31

新規会員ご紹介のお願い

33

トッ プ 対 談



京都大学大学院

教授 藤 井 聡 氏

国土強靱化がつくる 明るい未来

自然災害などに負けない強靱な国土をつくることは、国民生活の安心・安全の向上にとどまらず、国際社会において日本が国力や競争力を保つ上でも不可欠と言えます。そのために今なすべきことは何か、安倍政権で内閣官房参与（防災・減災ニューディール政策担当）を務める京都大学大学院の藤井聡氏に、国土強靱化のカギを握る地方分散の意義や実現に向けた課題などについて聞きました。（平成25年5月10日 対談）

国家百年の大計で強靱化を考え総合的な対応を

藤 井 聡 氏

交通インフラ整備は代替補完機能を果たす使命も担う

永 原 功

交通インフラと産業競争力の強化が不可欠

■日本を強くする5つの視点で 脆弱性を点検、克服

永原 藤井先生は安倍内閣の官房参与であると同時に、今年3月に設置された有識者懇談会「ナショナル・レジリエンス（防災・減災）懇談会」の座長も務めていらっしゃいます。懇談会では国土強靱化に向けた議論の成果を5月中に取りまとめると報道されていますが、現在までの議論で見えてきた方向性から聞かせて下さい。

藤井 東日本大震災や阪神・淡路大震災のような大災害が珍しくない日本では、狭い意味での「防災」ではなく、国土政策や産業政策も含めた総合的な対応を「国家百年の大計」で取らなければなりません。この共通認識のも

と、懇談会には防災や国土、エネルギー、情報、産業構造、地域社会などの専門家14人が集まり、4回にわたる議論を積み重ね、5つの基本方針を座長としてまとめました。

それは、いかなる大災害が発生しても、「人命は何としても守り抜く」「行政・経済社会を維持する重要な機能が致命的な損傷を負わない」「財産・施設等に対する被害をできる限り軽減し、被害拡大を防止する」「迅速な復旧・復興を可能にする」ことを目標に、① 短期的ではない「長期的な視野」、② 部分的、個別的ではない「体系的な視点」、③ 過剰な市場原理の回避と「適切な規制」、④ 「人のつながりやコミュニティーなど社会の力」、⑤ 「自律・分散」の上での

「協調・連携」の視点に基づき、脆弱性をチェックし、日本の経済・社会システム、国土の構造的な強靱化に取り組んでいくというものです。

永原 確かに、例えば部分的、個別的でないという意味では、“部分最適”の積み上げが“全体最適”にならないことは多々ありますし、長期的視野に立たず効率性ばかり追求していくと、危機の時には逆に効率が落ちて脆弱になることが珍しくありません。懇談会で導き出された方向性にはまったく同感です。今後の予定では、懇談会の議論の成果が、政府の経済財政諮問会議がまとめる経済財政運営指針「骨太の方針」に反映されるそうですね。

藤井 はい。短期的には「骨太の方針」に基づき、平成26年度から事業としての取り組みが始まる予定ですが、それで終わりではありません。PDCAサイクル（計画→実施・実行→点検・評価→処置・改善）のように、長期にわたって国土の脆弱性をチェックし、事業を継続的に改善していく点に大きな特徴があります。

■国土強靱が成長のエンジンとなり デフレ脱却を可能に

永原 懇談会での議論の行方を、国民も高い関心を持って見守っています。

藤井 懇談会での議事内容は内閣官房内閣総務官室のホームページ上で逐次、公表し、だれでも見ることができます。私も自身のフェイスブックで情報を発信しており、8,000～9,000人のフォロワーがいて、感想をたくさん寄せてくれます。その反響の大きさを肌で感じ、皆様のご期待に何とか応えたいと思っています。

永原 今国会への提出が予定される「国土強靱化基本法」は、藤井先生の著書『列島強靱化論』がベースになっていますね。国土強靱化に必要な公共投資によって、国民生活の安全向上だけでなく、産業競争力を強化してデフ

レ脱却につながるとというのが、先生の持論でいらっしゃる。

藤井 国土強靱は成長のエンジンとなりえます。大規模な公共事業を、すぐに「税の無駄遣い」と批判する勢力がありますが、積極的な金融・財政政策によって強靱化プロジェクトを推進すれば内需が拡大し、長年苦しめられたデフレからの脱却が可能になります。つまり強靱化プロジェクトは、現在、進められるアベノミクスと表裏一体の性格を持っているのです。内閣府の古屋圭司・内閣府特命担当大臣（防災）も経済財政諮問会議の席上、強靱化と経済成長の密接な関係について強く主張しておられます。

■太平洋ベルトにGDPの70%が集中 地方分散が絶対必要

永原 専門家から首都直下型地震や南海トラフ地震の危険が高まっているとの警鐘が鳴らされています。東京や大阪、名古屋の太平洋ベルト地帯は、まさにこの想定被災地です。懇談会の基本方針に「自律・分散」の上での「協調・連携」がありますが、現在の一極集中をいかに分散させていくかがとても重要です。

藤井 その通りです。首都圏には日本全体のGDPの約30%が集中し、東京、大阪、名古屋を含めた太平洋ベルトでは約70%に達します。現状のまま大きな震災に襲われたら、日本の都市機能と経済の心臓部は立ち直れないほど破壊され、日本が立ちゆかなくなる恐れさえあります。

ですから、都市機能や生産拠点の地方分散が国土強靱のカギを握るといっても過言ではないのです。そうすることで巨大災害で想定される数百兆円規模の経済被害の最小化を図り、地方から被災地への救援も可能にします。これは、「持続的な日本の経済成長」のための最低限の前提条件です。

■交通インフラは要

整備新幹線のある都市が発展してきた

永原 では、地方分散を実現していく上で、具体的にどんな施策が大切になってくるのでしょうか。

藤井 ハード、ソフトを含めて多岐にわたりますが、やはり交通インフラの整備が要です。交通インフラは都市間の移動だけでなく、災害の際の代替補完機能という重要な役目も持っています。被災地を回避して人や物が往来するルートを確認すると同時に、救援物資を運ぶための大動脈にもなります。そのためにも、整備新幹線はもとより、在来線や高速道路、港湾の整備を遅滞なく進めなければなりません。



北陸新幹線の 早期全線開業に向け全力

永原 北陸の人間にとって40年来の悲願ともいうべき北陸新幹線が、平成26年度末に金沢まで開業します。ここまで待たされた背景には、大都市圏と比べて人口の少ない地域に新幹線を整備することは非効率という発想に立ってきた証左だと思うのです。

藤井 歴史を振り返ってみましょう。明治9年の調査で、人口の多い都市ベスト15の中に金沢市と富山市が入っています。一方、現在、大都市と呼ばれる東京と政令市の計20都市に共通するのは、本州以南ではいずれも新幹線が整備された都市ばかりです。つまり新幹線が整備された都市は発展し、整備されなかった

都市は停滞したのです。

新潟市は上越新幹線の開通によって、日本海側唯一の政令市になりました。最近では、九州新幹線開業に伴い熊本市が政令市に昇格しています。新幹線の経済効果として観光やビジネス客の増加にばかり注目が集まりますが、都市の発展を誘発する起爆剤になることにぜひ目を向けてほしいと思います。

■北陸新幹線は

真に必要な国家プロジェクト

永原 今日、明治24年に作成された「大日本鉄道線路全図」を持ってきました。明治5年、新橋－横浜間が開通してからわずか20年足らずで、東北から九州までの太平洋側に鉄道が完成しています。つくる情熱さえあれば、早期に実現できる何よりのお手本です。

藤井 鉄道網整備にかける明治政府の強い意思がうかがえます。ただ、太平洋側中心の局所的な国づくりをした結果、災害に極めて脆弱な国になったのも事実です。われわれはこの反省に立って、今後の国土強靱化を考えるべきです。

永原 北陸新幹線は、日本の大動脈である東海道新幹線が災害などでダメージを受けた際、その代替補完機能を果たす特別な使命もあります。しかし、金沢から敦賀までの延伸は平成37年度の予定で、さらに敦賀から大阪までのルートは未決定という状況です。

当会が昨年実施した調査では、北陸新幹線の敦賀延伸により交流人口が年280万人増加し、経済波及効果の総額は北陸3県で年間約800億円と試算され、開業が早いほどその効果は早く得られることが分かりました。また、東海道新幹線の代替補完機能を北陸新幹線が最大限に発揮することにより、移動に伴う消費やビジネス機会が回復し、金沢までの開通で約12億円／日、全線開通で約24億円／日の経済的損失が回避されるという試算も公表しています。

藤井 敦賀までの開業時期の前倒しによって、経済効果の恩恵に浴する時期が早まれば、それだけ北陸地域が潤って生き生きとしてきます。地方の交通網整備の状況を見ると、「ほとんどできているのに、一部残されているために全部つながっていない」というミッシングリンクが散見されます。このミッシングリンクを解消することで大きな効果が生まれると、多くの専門家が指摘しています。

あくまでも個人的な見解ですが、敦賀以西のルートがいまだに決定していないのは残念の一語です。万一の事態が起きても東日本と西日本の交通が途絶しないよう、早期にルートを決定しフル規格で整備することは、国家の強靱性を考える上で極めて優先度の高いものである可能性が非常に高い。迅速に議論すべきでしょう。



都市機能や生産拠点の 地方分散が国土強靱のカギ

永原 北陸新幹線の整備は、日本を強靱化するために真に必要な国家プロジェクトです。当会としても、公共事業費の拡充と重点配分によって十分な財源が確保され、早期に全線開業が実現するよう、関係機関と緊密に連携しながら引き続き精力的に活動していく考えです。

■電源のベストミックスは エネルギー強靱化の大前提

永原 交通インフラとともに、エネルギーも強靱

化の根幹にかかわるものです。電力の安定供給は国民生活や経済発展に直結します。エネルギー分野の強靱化について、先生のお考えを聞かせ下さい。

藤井 電力の安価で安定的な供給の確保は、ライフラインや産業競争力強化の土台であり、強靱化の議論でも最重点項目のひとつです。そのために欠かせないのが電源構成のベストミックスです。電力供給の安定性、発電コスト、環境への影響などさまざまな面から総合的に検討し、特性の異なる電源をバランスよく組み合わせることが肝心でしょう。

永原 安倍政権には、エネルギーの安全性や安定供給、環境面、コスト低減の観点も含めて電源構成のベストミックスについて十分時間をかけて検討され、国の基幹政策として現実的かつ戦略的なエネルギー政策を構築していただきたいと強く望んでいます。具体的には、再生可能エネルギーや省エネルギーの推進に加え、原子力発電を一定の割合で活用し、多様なエネルギー資源を確保することが重要だと考えます。また、エネルギーの安全保障や優れた日本の原子力技術の維持、継承についても、今後議論を深めていくことが大切だと思います。

今日は示唆に富んだお話をたくさんうかがうことができ、本当にありがとうございました。藤井先生のますますのご活躍を祈念しています。

プロフィール

京都大学大学院 教授 **藤井 聡 氏**

1968年奈良県生駒市生まれ。

京都大学工学部土木工学科卒、同大学院工学研究科修了、98年、同大学博士号（工学）取得。東京工業大学大学院助教授、教授を経て、09年、京都大学大学院工学研究科教授、11年、同大学レジリエンス研究ユニット長を兼任。

専門は土木計画学、交通工学など。

現在、安倍内閣で内閣官房参与、ナショナル・レジリエンス懇談会座長など公職多数。

平成25年度 定期総会



5月27日(月)、金沢市の金沢ニューグランドホテルで、平成25年度 定期総会を開催した。総会には、会員約150名が参加し、以下の議案について審議し、承認された。

- 第1号議案 平成24年度事業報告および決算承認の件
- 第2号議案 平成25年度事業計画および収支予算（案）審議の件
- 第3号議案 役員企業の口数の変更の件
- 第4号議案 役員改選の件

総会後、評論家で元台湾総統府国策顧問の金 美齡氏が、「『国家意識』なき日本人へ」と題して講演した。また、懇親交流会も開かれた。

永原会長 挨拶

経済情勢については、現在、安倍政権において日本経済再生に向けた取り組みが進められているが、このいわゆる「アベノミクス」を背景とし円安や株高が進み、景気回復への期待感が高まっている。

日銀金沢支店の5月の「北陸の金融経済月報」においても、前月同様「北陸の景気は、持ち直しの動きがみられる」とあり、先行きについても、「国内需要が持ち直していくとみられるほか、海外経済の成長率の高まりを背景に、緩やかに回復経路に復していく」とみている。

今後は、アベノミクスの3本目の矢といわれる「成長戦略」への具体的な取り組みが重要となるが、政府は、来月（6月）に「成長戦略」をまとめるとしており、デフレからの脱却、本格的な景気の回復に向けた道筋が見通せることを期待している。

北陸新幹線については、金沢―敦賀間において、昨年6月に着工が認可され、8月には起工式が行われたものの、開業は金沢開業後概ね10年強とされている。

当連合会においては、昨年の11月に「金沢―敦賀間の早期開業による経済効果」について調査し、5年間で約4,000億円の経済波及効果が得られるという結果を取りまとめた。今後も、要望活動等を通じて引き続き工期短縮に向けた取り組みを実施していく。

北陸新幹線の敦賀以西の延伸については、引き続き大阪までの全線フル規格での整備を訴えていく。先般、関西広域連合が、敦賀以西のルートについての考えを示したが、当連合会においては、敦賀以西3ルートの経済波及効果などの調査を進

めている。加えて、並行在来線の収支改善、駅周辺の環境整備、街づくりを通じた地域の活性化に向けた調査・研究も進めていく。

北陸三県が一体となった広域観光の推進については、平成27年秋の「デスティネーションキャンペーン」の開催が決まった。当連合会においても、北陸新幹線の開業効果を最大限に活かせるよう対応したい。

また、首都圏の交通事業者とのタイアップによる、首都圏での「北陸イメージアップ事業」について、さらに充実をはかっていく。

当連合会では、かねてより、不安定な電力供給とエネルギーコストの上昇は、国際競争力の低下と産業空洞化の加速をもたらし、その影響は深刻であることから、安全が確認された原子力発電所の再稼働が必要と訴えてきている。自民党政権においては、原子力ゼロ政策の見直しが表明され、その姿勢に変化はみられるものの、現時点での具体的な成果はなく、原子力発電所の再開は未だに実現していない状況が続いている。エネルギーは経済成長における根幹をなすものであり、政府への要望・提言を引き続き実施していく。

本年度も 北陸地域の自律的、持続的な発展に向け、今後とも皆様方の変わらぬご支援をお願いしたい。

特別講演



演題：「国家意識」なき日本人へ

講師：金 美 齡 氏

評論家・元台湾総統府国策顧問

●人を見る目を養ってきた

私は2009年に日本国籍を取得した。それ以前の50年は外国人として日本で暮らしてきた。

蒋介石政権の時、私は、台湾でブラックリストに載る人物だった。ブラックリストに載せられたときの人々の冷たさは厳しいものだった。台湾に帰れない。

「ああ、そう。帰りたくない。あんな独裁国家、誰が帰りたいものですか」と私は突っ張ってきた。故郷に帰れなくて泣いた人はいっぱいいるが、私は泣かなかった。

政権が民進党の陳水扁に変わった途端に台湾の国策顧問になった。社会なんてそんなもの。

このようなUp & downを経験すれば、いろいろなことが見えてくる。私は好奇心が旺盛で、なんでも見たがり、知りがりで、その場に居合わせたい、そういう人間である。そのような中で、人を見る目を養ってきた。物事を分析する習慣をずっと養ってきた。

これまでたくさんの政治家に会って、話を交わしてきた中で、一番国家意識があるのが安倍晋三

さんです。

自分がこれからしなければならないのは、「日本を取り戻す」こと、日本をどう再生するか、日本がどっぷり浸かっている戦後体制から、どう脱却するか、安倍さんは使命として考えている。

第1次安倍内閣の時は急ぎ過ぎて、マスコミ、官僚から足を引っ張られて、あえなく沈没した。

安倍さんの頭の中は「日本を取り戻す」、どうすれば日本を自立自尊の国にすることができるかで、いっぱいだ。

●エリートを育てよう

日本人の一番の欠点は、国際感覚がないこと。それから特に日本男性は恥ずかしがり屋で、重たそうな荷物を持っている人を見ても「手伝いましょうか」とサービスの手を出さないことだ。

恥ずかしがらないで、自然な立ち居振る舞いの中での積極性は、小さなときから育てなければならない。

それから、自分たちの地域や国のおいしいものを食べて、美しい光景を見て、いい芝居を見て、いい絵を見て、いい音楽を聴く。それをしないことには本当のエリートは育たない。美意識というものはじっくりと育てるものだ。

さらに忘れてはいけないことは、自分が今ここにあるのは、両親が生み育ててくれて、家族がいて、日本の素晴らしい美意識の中に私たちがいるからだという感謝の気持ち。

ライフラインが保たれ生活が順調に行っているのは、一生懸命がんばって研究して、確かな仕事をしている人たちがいてくれるから。それにたいする感謝の気持ちが大切だ。

ある日突然何かが起こったからといって、全否定するのは愚かだということが分かるような人間を育てなくてはいけない。

それを育てるのは、親であり、学校であり、地域のリーダーであり、社長でもある。最近はモン

スターペアレンツもいるから、育てることは至難だが、課題をどんどん出してエリートを育てなければならぬ。

私はささやかながら、育てる努力をしている。率先垂範、すなわち背中を見せようということだ。その1つが「美齡塾」である。消極的で、物事をよく考えない40歳までの若い人が多いので、「この指とまれ」式にときどき集まって、おいしいものを食べたり、座談会をやったり、台湾へ一緒にへ行ったりして、刺激を与えている。

自分の目で確かめて、五感で感じとっていないければならぬ。

●安保反対は不満の発散に過ぎなかった

私は、1959年に留学生として日本へやってきた。一党独裁で、政府に一言でも異議を唱えたら、すぐに捕まり、ひどいときには死刑になる国から、いきなり早稲田大学文学部という、学生運動が最も華やかなキャンパスに入った。1960年日米安保反対を訴える学生運動には、驚いた。こんなにリベラルにものが言えるなんて。

でもそのうちに分かった。クラス討議は、講義が休みとなり、勉強をしなくても済むから、みんな賛成する。でも、クラス討論会で声をあげていたのは、安保反対で大声を上げる数人。ノイジーマイノリティである。たまに、だれかが「安保改正が必要じゃないか」と言うと、ノイジーマイノリティがわっと叫び、口を閉ざさせる。クラスメートの多くはサイレントマジョリティだった。

そして、その秋の就職活動。ゲバ棒を担いで騒いでいた人が、みんな大人しいスーツに着替えて会社の前に並んでいた。

私はそのときにはっきり分かった。あれはゴッコだったと。若者たちの欲求不満エネルギーの発散に過ぎなかった。

●いい人に思われたい意識

私が日本にいる間に、ゴッコとしての反対運動は何回繰り返されたか。

ゴッコとしての反対運動は、脅されたり、踊らされたり、思考が短絡したりする中で、いい人と思われたい意識の表れだ。

それはある意味、日本が暮らしやすくて、いい国だから可能なのである。日本はある意味自由だ。しかし、艱難辛苦を乗り越えて築いてきたものではない。

本当の意味でリベラルな人間というのは私みたいな人を言うと思う。台湾からやってきて、一党独裁の蒋介石政権と闘い、ささやかな言論で反論をし、ブラックリストに載せられて、パスポートも無効になった。

私は、「人間の自由とは何ぞや」「言論の自由とは何ぞや」と真正面から向き合ってきた。

身を削って闘ってきた人間にとっては、何々反対運動というのは、ちゃんちゃらおかしい。

●ある日突然 180度変わる

私は、日本人がどうして、ある日突然、物事を180度変えられるのか、理由が分からない。

1945年、日本は戦争に負けるまで、行け行けどんどんであった。富国強兵で、日本は神国と信じていた。ところが、戦争に負けた途端、すべてを否定してしまった。日本人の倫理観、美徳、今まで積み上げてきたものを否定した。

なぜ、蒋介石に感謝してみたり、マッカーサーが来たら、旗を振って迎えたりできるのか。

ある日を境に、前のことを全部否定して、日本人はダメな民族と、自虐史観に陥る。それが一部の日本人の特徴である。それはおかしいだろうと思っている人は何も言わない。

日本は確かに無謀な戦争をした。だからと言って、へこむことはない。人間は誤りを犯すもの。歴史には光と影がある。

日本は戦後の焼け野原から見事に立ち直った。これが日本人の強さだ。それをどうして評価しないのか。奇跡的な経済成長を遂げた日本には、農耕民族としての強さ、勤勉さ、和を貴ぶ精神、美意識、美徳がある。このような強さまで全否定するというたいへん愚かなことを、一部の日本人は行ってきた。

四分六分、三分七分など、いろいろあるのに、ここでAll or nothingに陥るということは思考停止である。

●日本と台湾 50年の付き合い

日本と台湾は、1895年～1945年まで50年間歴史をシェアしてきた。「植民地統治 即 悪」と考えるのも短絡的である。台湾における日本との50年というのは、光もあれば影もある。日本人が台湾で汗をかき、涙を流し、血を流して作り上げてきたものがあり、ときには問題もあった。その光と影を足し合わせた結果、光が残った。

だから台湾の人は今でもこれだけ日本を愛している。そして東日本大震災に、台湾人が250億円もの愛情の義援金を日本に届けたのだ。

台湾にとって、八田與一さんは素晴らしい方だ。ダムを造って、灌水路をすみずみに巡らせて、豊かな穀倉地帯を作っていた。

官田溪にある素晴らしい湖には、水利発電のインフラを遺していった。近代的な生産設備である新鋭の砂糖工場。お米の改良、小学校、大学を隅々まで造っていた。

そして衛生状態をどんどん向上させていった。教育、衛生、生産、インフラすべて日本人が50年のあいだに遺していったものである。

台湾人は決してそれを忘れていない。今でも命日には、毎年皆さんが参ってお花を捧げて、八田與一さんが遺した偉業を偲ぶ。

むしろ日本人のほうがかかっていない。日本の数々の伝統的な、歴史的な、いろいろな行いのな

かで、どれだけ賞賛に値することがあるのかを取り上げないで、どれだけひどいことをやったかというのを、数々数え上げていく日本人。外国はそれに便乗して、日本を非難している。

●エネルギー問題も180度転換

東日本大震災、それに伴って原発事故が起きたら、環境問題がどこかにすっ飛んでしまった。炭酸ガスが発生しても、火力で賄えばいいとして、180度転換した。日本人のAll or nothingがまた現れた。

ライフラインとしての電気の供給がどれだけ大切か。私がこれまで省エネを言ってきたのは、基本として電気があって、それを無駄にしないということだった。

ところが、ある日突然、電気が要らない、「たかが電気」と言い出した人がいる。原子力発電所事故が起こったから、とにかく「原発ノー」と言うもてはやされる。

これが一部の日本人の最大の欠点であり、それに振り回されている。

世界に200ぐらいの国がある中で、日常生活が一番暮らしやすいのは日本である。日本は多くの日本人がまじめに働いて、高いレベルの技術立国で、経済水準を保っている。

●農耕で培った技術プラス狩猟の強さを

日本のライフラインは凄い。水道をひねれば水が飲める。停電しない。交通事情は世界一。

日本は技術立国だから、日本の技術は宝物だ。営々と積み上げてきたこの技術を大切にしないで、どうするのか。

今まで、ライフラインをこれだけ安全に保ってきたシステムや技術、それには技術者の努力がどれだけ大切かを知らなければならない。

これだけの技術を築き上げてきたことに誇りをもち、それを認める国に売ってさしあげる。それ

で、私たちの生活が潤う。こんな素晴らしいことはない。

素晴らしい技術の根底には、農耕民族としてのDNA、数々の美徳が脈々と伝わっている。

しかし、私たちは農耕の生活に戻るわけにはいかない。今のこのグローバルな世の中では、狩猟民族としての強さも必要だ。

その強さを持っていて、なおかつ豊かな教養を持つ人間でないと、国際社会では通用しない。ちょっと何かが起こると All or nothing の思考に陥るのは、決してあってはならない。

今日ご出席下さっている皆さんはリーダーである。リーダーならば、このことをきちっと発信してください。そしてこの地域が、日本がリーダーシップを取っていただきたい。それが日本の為、世界の為です。

今日はお招きいただき、ありがとうございました。



講師プロフィール

多くの大学で講師を歴任。早稲田大学では20年以上英語教育に携わる。

学校法人 ^{シカサカ} 柴永国際学園 JET日本語学校 校長（1988年4月～2000年3月）。現在は理事長。台湾総統府国策顧問（2000年5月～2006年5月）。

評論家として、テレビを始め、新聞・雑誌など各種メディアにおいて、家族・子育て・教育・社会・政治等、幅広い分野にわたって様々な提言を行っている。

■金美齢ホームページ：<http://www.kin-birei.com/>

「北陸新幹線」建設促進に向けて

◇富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会
合同決起大会



5月20日(月)、富山市の富山第一ホテルで、平成25年度 富山県北陸新幹線対策連絡協議会・北陸新幹線建設促進富山県民協議会 合同決起大会が開催された。

石井 富山県知事をはじめ、田畑 衆議院議員、杉本 富山県議会議長、沿線自治体首長、犬島 富山県商工会議所連合会会長、永原 北経連会長など約250名が出席した。

永原会長は、「平成27年秋のJRデスティネーションキャンペーンの実行委員会に参画し、活動を強化する。北陸新幹線金沢―敦賀間については、北陸の一体的な発展のため、1年でも2年でも早い開業が必要であり、大阪までの全線フル規格整備も当然なされるべき。引き続き、取組みを行っていく。」と述べた。

◇北陸新幹線建設促進同盟会総会・北陸新幹線建設促進大会、及び合同中央要請



5月21日(火)、東京のホテルニューオータニで、平成25年度 北陸新幹線建設促進同盟会総会・北陸新幹線建設促進大会が開催された。

沿線の各県知事、各県選出の国会議員、鉄道・運輸機構、関西広域連合、関西経済連合会など約270名が出席した。当連合会からは、永原会長、犬島副会長、深山副会長、川田副会長が出席した。

午後からは、政府・与党に対し要請活動を行った。

訪問先は次のとおり（訪問順）

- 自由民主党 野田 総務会長
- 自由民主党 棚橋 政務調査会長代理
- 自由民主党 浜田 幹事長代理
- 自由民主党 町村 整備新幹線等鉄道調査会会長
- 公明党 井上 幹事長
- 公明党 漆原 国会対策委員長
- 国土交通省 太田 国土交通大臣

【要 請 文 (要旨)】

北陸新幹線に求められる役割がこれまで以上に大きくなっており、東京－大阪間全線を早期に整備する必要がある。沿線住民の悲願である北陸新幹線のフル規格による全線整備が一日でも早く実現できるよう、次の事項について各段の配慮をされるよう要望する。

- ① 平成26年度末までの金沢開業が一日も早く実現するよう整備を促進すること。金沢－敦賀間について、工期の短縮を図り、早期完成・開業にむけ整備を促進すること。
- ② 必要な財源を確保し、整備スキームを見直すこと。
- ③ 大阪までのフル規格による整備方針を明確化し、早期全通を図ること。
- ④ 地方負担について、沿線に過度の負担が生じないように、十分な財政措置を講ずること。
- ⑤ 並行在来線が存続できるよう、新たな仕組みを構築するほか、経営安定化にむけ支援施策の充実を図ること。
- ⑥ 諸課題に対応するため、公共事業費の拡充・重点配分など、十分な財源を確保すること。



自民党 野田総務会長へ要請



自民党 町村新幹線等鉄道調査会会長へ要請



国土交通省 太田大臣へ要請

◇福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会

建設促進同盟会総会



6月15日(土)、福井市の福井県協ビルで、平成25年度 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会が開催された。

西川 福井県知事をはじめ、山崎 参議院副議長、稲田 行政改革・公務員制度改革担当大臣ら福井県選出国會議員、吉田 福井県議会議長、沿線自治体首長、永原 北経連会長、関西経済連合会など約170名が出席した。

永原会長は、北陸の経済界を代表して「北陸の一体的な発展には、1年でも2年でも早い開業がなんとしても必要である。国土強靱化が法整備され国の施策となるので、大阪までの全線フル規格整備が当然なされるべき。」と述べた。

【大会決議（要旨）】

北陸新幹線は、複軸型の国土構造の核となる重要な路線であり、国土強靱化を図る国家プロジェクトとして優先して整備すべきである。次の事項の実現を強く求める。

- 1 工期を短縮して、敦賀までの1年でも早い完成・開業を実現すること
- 1 整備に必要な財源については、公共事業費の拡充や新規着工区間の貸付料の前倒し活用などにより、十分確保すること
- 1 敦賀以西については、整備計画どおり若狭ルートの実現に必要な調査を速やかに進め、早期に決定すること。

富山県並行在来線利用促進協議会



6月3日(月)、富山市の富山県民会館で、平成25年度 第1回 富山県並行在来線利用促進協議会が開催された。

石井 富山県知事をはじめ、森 富山市長ら沿線自治体首長、県内各団体の代表者、永原 北経連会長など約40名が出席した。

意見交換の場で、永原会長は、各駅の駐車場整備によるパークアンドライドの推進等について意見を述べた。他の出席者からは「在来線の利便性の維持」「城端線・氷見線とのアクセス向上」「高齢者向けの無料・割引制度の導入」「カード共通化による乗り継ぎ割引の実施」「利用促進をはかる上で防犯カメラ増設等による安心安全の充実」などの要望が出された。

植出 並行在来線準備会社社長から、新社名を「あいの風とやま鉄道株式会社」とすることが内定し、正式には6月下旬の株主総会で決定するとの報告があった。

※平成24年度まで「富山県並行在来線対策協議会」として開催したが、準備会社が発足し開業が近くなったことから、平成25年度より、新たな委員を加え、「富山県並行在来線利用促進協議会」としてスタートした。

第1回 広域観光推進委員会の開催



4月12日(金)、金沢市の金沢都ホテルで、平成25年度 第1回 広域観光推進委員会を開催し、小田委員長をはじめ12名が出席した。

小田委員長は、「新幹線金沢開業は、年間1,800万席の民族移動、1日でも3万5千席。人で一杯にするのか、空気を運ぶかは大きな違い。今後のプロモーション活動にかかる。当委員会のミッションはそのための知恵を出すこと」と挨拶した。

審議に先立ち、昨年度の首都圏でのイメージアップイベントコーディネーター（元 金沢星稜大学 講師）谷本 互氏を迎え、「北陸新幹線金沢開業と広域観光」と題した講演会を広域連携プロジェクトチームと合同開催した。

その後、24年度事業の評価と25年度事業計画（案）について審議した。



小田委員長



元 金沢星稜大学 講師 谷本 互 氏

【各委員からの主な意見】

- ・多くの外国人観光客に対し、うまくフェイスブックなどとリンクさせながら情報発信すれば面白い。
- ・在来線を使った様々なイベント列車を提案したどうか。
- ・新幹線＋2次交通＋宿泊プランで提案し、双方向性でメリットのある企画にすべき。
- ・観光では女性の力が大きい。女性をターゲットにしたプランを考えてはどうか。
- ・観光ボランティアの案内などおもてなしが大事。最後は受け入れる人だと思う。

イノベーション推進事業部だより

◇高信頼システム情報交換会・北陸

6月19日(水)、金沢市のITビジネスプラザ武蔵にて、北陸先端科学技術大学院大学との共催で、平成25年度 第1回 情報交換会を開催した。(株)i.JTBシステム企画部 システム企画課長 矢嶋健一氏と石川工業高等専門学校 電子情報工学科 准教授 越野 亮氏を講師に迎え、北陸の企業・団体から57名が参加した。

矢嶋氏からは、「JTBにおけるWebでの旅行オンラインサイトの構築手法」について、越野氏からは、学生の指導で用いている「効率的にスマートフォンアプリを開発する手法」について講演いただいた。

講演後のフリーディスカッションでは、外注会社も交えてチームでWebシステムを開発するにあたっての留意点や、簡易なアプリ開発の具体的な方法、アプリ活用の事例などについて、活発な意見交換がなされた。



(株)i.JTB 矢嶋課長



石川高専 越野准教授

◇次世代ロボット研究会・北陸

6月20日(木)、小松市のコマツ栗津工場にて、(一財)北陸産業活性化センターとの共催で、平成25年度 第1回 研究会を開催した。

今回は、研究会メンバー等40名が、最新鋭の建設機械工場におけるロボット利用や省エネの取り組みなどを見学した。

はじめに、工場の概要やICTを用いて自動制御を行う建機等について説明を受けた後、ロボットを活用して自動化を進めている生産ライン、自然水を利用した省エネ空調システム等を見学した。

見学後は、栗津工場の技術者を交えて、ロボット等により自動化する作業と人間が行う作業との振り分けの考え方、GPSと衛星通信を用いてコマツが全世界に保有する30万台の建機の稼働情報を管理するシステムなどについて、活発な質疑応答を行った。



被災地ボランティアバス「西経協号」

6月20日(木)～23日(日)の日程で、(公社)関西経済連合会の主催により、西日本経済協議会や関経連の関係者25名が、宮城県内でのボランティア活動をおこなった。北経連からも2名が参加した。

◇植栽活動ボランティア、海苔工場の見学（東松島市宮戸島にて）

島の入り口が荒れたままでは、島の復興も進まないとの思いから、市の支援を待たず森をつくる活動を行っている“NPO法人 スマイルシード”の協力のもと、道路脇の公園での草刈り、植栽活動を実施した。



続いて、海苔養殖の再開に向け、月浜海苔生産グループ“月光”を立ち上げるまでの話をうかがった。若い人の「地元で海苔をつくり、住み続けたい」との思いに、皆が前を向いて歩くようになった。



◇石巻市等被災地視察

震災直後から活動されている、“災害救護NGO ヒューマンシールド神戸”の方の案内で、石巻市の沿岸部の視察を実施した。場所によっては、被災後、2年3カ月が経過し、がれき等の集積は進んでいるものの、ほとんど手つかずのところもあり、被害の大きさがうかがえた。



女川町で倒壊したビル



大川小学校

◇気仙沼復興商店街との意見交換会

“NPO法人 気仙沼復興商店街”の代表者から、仮設店舗の開店までの道のりについて話をうかがった。住む人に便利、年寄りにも住みやすい商店街づくりに向けて取り組んでいる。



◇漁業復興支援ボランティア（気仙沼市唐桑地区にて）

漁港にて、牡蠣の養殖作業を手伝った。作業再開に向けて、ライバルである広島の牡蠣養殖に携わる方の支援などにより、復興に向け一歩ずつ進んでいる状況をうかがった。



全体を通して、地元の方々の前向きな取り組みが印象的であった。しかし、移動中には未だに多くの仮設住宅を目にするなど、不便な生活を送っておられる方も多く、今回のように、すべてがうまくいっているわけではないと思う。復興までの道のりは長いと感じられた。

会員サービスの向上にむけて

3月に実施しました、「景況などに関する会員アンケート」において、皆様からのご意見、ご要望を伺いました。今後、少しでも皆様のご意見を反映できますよう取り組んでまいります。

以下、改善した内容について主なものを紹介いたします。

◎北経連会報（年3回発行）について

（要望）

北経連のホームページへ、目次のみではなくすべて掲載してほしい。

（今後の対応）

今回（No.205）より、ホームページにすべて掲載いたします。

◎北経連トピックス（隔週水曜発行）について

（要望）

FAXによる配信だけでなく、メールも検討してほしい。

（今後の対応）

送付方法について会員の皆様のご希望を聞いたうえで、対応いたします。

別途、希望確認の書類を送付しております。

◎会員アンケート（年2回調査）

（要望）

設問のボリュームが多く、内容を見直してほしい。

また、メールで回答できるように検討してはどうか。

（今後の対応）

次回調査（9月実施予定）より、設問を見直すとともに、設問と回答用紙を分け、後者のみ今までの郵送に加え、メールもしくはFAXにて返答できるようにいたします。

—その他、ご意見・ご要望をお聞かせください。—

【担当】北陸経済連合会 大嶋

TEL：076-232-0472 FAX：076-262-8127

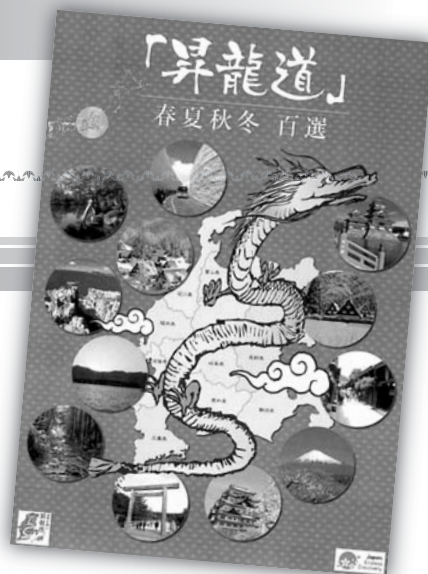
E-mail：ooshima@hokkeiren.gr.jp

「昇龍道春夏秋冬百選」選定

昇龍道プロジェクト推進協議会（永原北経連会長が同会副会長）は、「昇龍道」の知名度向上のため、中部北陸エリアの四季折々の魅力を端的に伝える「昇龍道春夏秋冬百選」を選定した。

選定にあたっては、観光資源の独自性（オンリーワン、ナンバーワン）に加え、外国人観光客の受入意欲、地域連携・テーマ連携にも重点を置くことで、各地域の観光客受入に向けた積極的な取り組みや観光資源同士の連携を促し、昇龍道自体の観光力を高めることも狙いとしており、北陸地域からも多数選定されている。

「百選集」は4言語（簡体字・繁体字・英語・日本語）毎に作成され、今後、中華圏や東南アジアへのプロモーションに活用していく。



「百選集」は中部広域観光推進協議会のホームページにて公開！
URL: [http:// go-centraljapan.jp/](http://go-centraljapan.jp/)

日本の自然・四季

日本の自然美、四季の景観美・・・・・・・・・・

- 1 日本と日本文化の象徴 **霊峰富士山**〈静岡県〉
- 2 3km級の北アルプスを貫く世界有数の山岳観光
立山/立山黒部アルペンルート/黒部峡谷〈富山県/長野県〉
- 3 3km級の山が連なる四季の山岳美
日本アルプス(千畳敷カールと駒ヶ岳ロープウェイ)〈長野県〉
- 4 日本三名山 **白山**〈石川県/岐阜県〉
- 5 清流と雄大な山の姿が心癒す日本初の山岳リゾート
上高地〈長野県〉
- 6 自然の原風景が残された森でのトレッキング
自然の原風景(五色ヶ原、小坂の滝)〈岐阜県〉
- 7 爽快な高原ドライブコース
ビーナスライン/ハヶ岳〈長野県〉
- 8 四季彩の高原・山岳美
乗鞍スカイライン/新穂高ロープウェイ〈岐阜県〉
- 9 晩秋から春先までスキー体験可能な昇龍道エリア
昇龍道のスキー場(雪の景)〈昇龍道9県各地〉
- 10 360度の大自然が絶景の天空の庭園
三方五湖/三方五湖レインボーライン〈福井県〉
- 11 日本最大で世界三番目の古さ(400万年の歴史)を誇る湖
琵琶湖〈滋賀県〉



- 12 日本一の汽水湖、美食・美湯
浜名湖エリア・体験観光(美食と温泉、花と歴史文化、産業観光の体験観光拠点)〈静岡県〉
- 13 日本有数のリアス式海岸美
志摩の里海～英虞湾〈三重県〉
- 14 日本を代表する名勝、名刹、名跡
福井の名勝・名刹・名跡(東尋坊～大本山永平寺～一乗谷朝倉氏庭園)〈福井県〉
- 15 海越しに見る立山連峰、夜の海に幻想的な光を放つ「ホタルイカ」
富山湾 海の景/雨晴海岸〈富山県〉
- 16 日本最長・唯一の砂浜ドライブウェイ
千里浜なぎさドライブウェイ〈石川県〉

桜と紅葉、四季彩美・・・・・・・・・・

17 日本さくら名所百選とお城の景
桜と城の景(岡崎城、富山城、高岡城、高遠城、彦根城、長浜城、丸岡城)〈愛知県/富山県/長野県/滋賀県/福井県〉

18 日本最大の早咲き桜
河津桜並木〈静岡県〉

19 日本三大桜の一本桜
日本三大桜・薄墨桜〈岐阜県〉

20 4千本のもみじが川を彩る紅葉の名所
香嵐溪の紅葉と足助の町並み散策〈愛知県〉

21 紅葉と歴史ある寺院との美しいコントラスト
湖東三山の紅葉〈滋賀県〉



日本のふるさと・原風景・・・・・・・・・・

22 今も暮らしが続く日本の原風景
世界文化遺産 白川郷・五箇山の合掌造り集落〈岐阜県/富山県〉

23 兼六園・世界遺産 五箇山・白山郷と飛騨高山めぐり
北陸飛騨3つ星街道〈石川県/富山県/岐阜県〉

24 世界農業遺産の日本的里山・里海風景
能登の里山里海(白米千枚田、春蘭の里など)〈石川県〉

25 「伊勢」から「熊野」へ、聖地を結ぶ祈りの道
世界文化遺産 紀伊山地の霊場と参詣道(熊野古道伊勢路)〈三重県〉

26 信州ののどかな田園風景
信州の田園風景(安曇野とわさび田、飯山(菜の花畑と千曲川))〈長野県〉

自然に囲まれた温泉街、温泉観光地・・・・

27 千年以上の歴史を持つ日本三名泉
下呂温泉〈岐阜県〉

28 優しい海に寄り添って、能登半島に抱かれた湯街
和倉温泉〈石川県〉

29 開湯1300年の歴史を有する一大温泉郷
加賀温泉郷〈石川県〉

30 日本の屋根・北アルプスと露天風呂の里
奥飛騨温泉郷〈岐阜県〉

31 日本有数の温泉集積地
長野の温泉(湯田中・湯田温泉郷(地獄谷温泉スノーモンキー)、野沢温泉、白骨温泉、別所温泉など)〈長野県〉

32 温泉、自然、文化が集積する日本を代表する観光地
伊豆半島〈静岡県〉

33 海と温泉、美食、アミューズメントの総合観光地
蒲郡温泉郷(西浦温泉、三谷温泉、ラグーナ蒲郡、蒲郡オレンジパークなど)〈愛知県〉



日本の歴史・文化

国宝三城など名城めぐり・・・・・・・・・・

34 日本が誇る国宝三城と日本の名城
国宝三城(松本城、彦根城、犬山城)と昇龍道の名城(名古屋城、丸岡城、岐阜城)〈長野県/滋賀県/愛知県/福井県/岐阜県〉

35 日本で三つの国宝茶室 犬山城との国宝めぐり
有楽苑 国宝茶室「如庵」(犬山城との国宝めぐり)〈愛知県〉

悠久の歴史浪漫、歴史遺産と寺院・・・・

36 世界文化遺産、名だたる開祖を輩出した日本仏教のふる里
比叡山延暦寺〈滋賀県〉

37 宗派を問わず極楽往生を約束する東日本最大の寺院
信州善光寺〈長野県〉

38 天下統一を果たした将軍・徳川家康ゆかりの地
徳川家康、将軍への道〈愛知県/静岡県/三重県〉

39 日本一の国宝庭園を持つ紅葉の名所
虎渓山永保寺〈岐阜県〉

40 仏殿、法堂、山門が国宝の北陸最大の寺院
北陸・禅宗の名山(高岡山 瑞龍寺、總持寺祖院)〈富山県/石川県〉

昇龍道

古き町並みと地域文化・情緒あふれる町・…………

- 41** ゆくたび感動 飛驒高山 歴史と文化の旅
飛驒高山 〈岐阜県〉
- 42** 江戸時代の街道文化を今に伝える宿場町
中山道 馬籠宿・妻籠宿・奈良井宿
〈岐阜県/長野県〉
- 43** 水とおどりの城下町
郡上八幡 〈岐阜県〉
- 44** 水郷と古き商家のたたずまい
近江八幡 〈滋賀県〉
- 45** 古くから残された白壁土蔵街
飛驒古川・白壁の町並み 〈岐阜県〉
- 46** 古き日本と現代の日本が混在する活気ある下町
大須 〈愛知県〉
- 47** 四季の魅力溢れる日本有数の保養地
軽井沢 〈長野県〉
- 48** 古くから残された蔵と運河の日本的風景
半田・蔵の町 〈愛知県〉
- 49** 忍者の里の歴史と文化めぐり
かくれ里・甲賀 〈滋賀県〉
- 50** 縁結びの象徴
縁結びの町・二見 〈三重県〉
- 51** 歴史とモダンが融合したノスタルジックで
おしゃれな町歩き
長浜・黒壁 〈滋賀県〉
- 52** 北陸の小京都と呼ばれる風情ある名水の城下町
城下町 越前大野と九頭竜湖 〈福井県〉



日本の伝統文化・祭り・…………

- 53** 1300年の時を超え、今に伝える日本の伝統漁法
鵜飼(ぎふ長良川鵜飼、小瀬鵜飼、木曾川うかい)
〈岐阜県/愛知県〉
- 54** 日本古来の生活文化「海女」の町で、海女文化体験
鳥羽・志摩の海女小屋体験 〈三重県〉
- 55** 日本で有名な忍者の里
忍者の里 伊賀・甲賀 〈三重県/滋賀県〉
- 56** 日本の夏の風物詩、盆踊り
日本を代表する盆踊り(郡上おどり、おわら風の盆)
〈岐阜県/富山県〉
- 57** からくり人形と山車まつり
山車・曳山の祭(高山、犬山、半田、長浜、越中八尾、岩瀬など)
〈岐阜県/愛知県/滋賀県/富山県など〉
- 58** 世界最大の手持ち花火まつり
三河の手筒花火 〈愛知県〉

日本の生活文化・都市観光

日本食文化体験 朝市からアウトレットまで買い物体験

- 64** 最高級の和牛料理
松阪牛、近江牛、飛驒牛 〈三重県/滋賀県/岐阜県〉
- 65** 地酒の酒蔵ツーリズム
酒蔵めぐり 〈石川県/岐阜県/愛知県〉



日本の心、神話の地・…………

- 59** 日本の神話、日本人の心のふるさと
伊勢神宮 〈三重県〉
- 60** 三種の神器の一つを祀る伊勢の神宮に
次いで由緒ある神社
熱田神宮 〈愛知県〉
- 61** 昇龍、龍神伝説の霊峰白山のふもとに鎮座
する白山信仰の総本山
白山比咩神社と白山めぐり 〈石川県〉
- 62** 「気」の集う縁結びの神社
気多大社 〈石川県〉
- 63** 日本最古の神社の一つ
諏訪大社と善光寺参り 〈長野県〉
- 66** 日本一のかに、牡蠣、魚の食体験
日本を代表する魚介類(越前かに、伊勢えび、三重の牡蠣、氷見の魚、南知多のとら
ふぐ、浜名湖のうなぎ、岐阜の鮎など) 〈福井県/三重県/富山県/愛知県/静岡県/岐阜県など〉
- 67** 新鮮・採れたてのフルーツ狩り体験
フルーツ狩り体験(渥美半島、久能山、浜松、長野など)
〈愛知県/静岡県/長野県など〉
- 68** 和食の代表、そば打ち体験
そば打ち体験(越前おろしそば、信州そば、奥飛驒朴念そばなど)
〈福井県/長野県/岐阜県など〉
- 69** 日本三大朝市での触れあい・買い物体験
日本三大朝市体験(高山、輪島) 〈岐阜県/石川県〉
- 70** 日本最大級のアウトレット天国
国内最大級アウトレット群 〈三重県/静岡県/岐阜県/滋賀県/長野県〉

都市観光・・・・・・・・・・・・・・・・

71 加賀百万石の歴史に根付いた城下町金沢
歴史と風土に根ざした城下町金沢〈石川県〉

72 ショッピング・食・アミューズメントから歴史文化、
産業観光、現代の祭りまで楽しめる大都市観光
大都市マルチ観光・名古屋〈愛知県〉

日本を代表する アミューズメント&ミュージアム・・・・・・・・

73 アニメ・漫画体験
アニメ・漫画ゆかりの地
〈静岡県/三重県/富山県/福井県/石川県/愛知県〉

74 遊園地から温泉、花園まで1年中楽しめる総合リゾート
ナガシマリゾート〈三重県〉

75 世界三大恐竜博物館
福井県立恐竜博物館〈福井県〉

76 100年前の日本の姿が蘇る
博物館 明治村〈愛知県〉

77 世界で鳥羽水族館だけ！海と川の人魚伝説のモデル
「ジュゴンとマナティ」を見に行こう
鳥羽水族館〈三重県〉

78 伊勢志摩の恵みあふれる『五感を潤す太陽と森のリゾート』、
情熱の国「スペイン」をまるごと体験できるテーマパーク
志摩のアミューズメント・リゾート
(合歓の郷、志摩スペイン村)〈三重県〉

79 わが国有数のコレクション
MIHO MUSEUM〈滋賀県〉

日本の交通体験・・・・・・・・・・・・・・・・

91 顧客満足度世界一の国際空港、昇龍道の玄関
中部国際空港セントレアと常滑トランジット観光〈愛知県〉

92 現役蒸気機関車体験
大井川鐵道SL(蒸気機関車)と渓谷美〈静岡県〉

93 海原の景色を見ながら
優雅なクルージング体験
クルージング
(駿河湾、伊勢湾フェリー)
〈静岡県/三重県/愛知県〉

94 最先端路面電車と
運河クルーズ体験
セントラル・ポータル
(LRT)と富岩水上ライン
〈富山県〉



日本のものづくり、 伝統の技と産業の今・・・・・・・・

80 日本の自動車体験(博物館から工場見学まで)
自動車の歴史と今(トヨタ会館、トヨタ博物館、ス
ズキ歴史館、鈴鹿サーキット、日本自動車博物館)
〈愛知県/静岡県/三重県/石川県〉

81 日本が世界に誇るブランド MIKIMOTO PEARL 誕生の地
ミキモト真珠島〈三重県〉

82 世界に一つだけの食品サンプルづくり体験
食品サンプルづくり体験〈岐阜県〉

83 日本一のお茶の産地
静岡茶体験(茶室体験、茶摘み体験)〈静岡県〉

84 日本一のやきもののみち・やきもの体験
やきもの産地めぐり(瀬戸、常滑、多治見、
四日市)と招き猫〈愛知県/岐阜県/三重県〉

85 世界的な精密機械産地
諏訪の精密機械工業と諏訪大社めぐり〈長野県〉

86 世界に誇る加賀・能登・金沢の伝統工芸品
加賀・能登・金沢の伝統工芸(金箔、
九谷焼、輪島塗など)〈石川県〉

87 日本の伝統文化・工芸体験
日本の伝統文化体験(ゆのくにの森、
飛騨の里・飛騨民俗村)〈石川県/岐阜県〉

88 飛騨地方の伝統工芸品
飛騨の伝統工芸(一位一刀彫、飛騨春慶)〈岐阜県〉

89 日本一の刃物、和紙のみち
美濃の伝統工芸(関の刃物、美濃和紙)〈岐阜県〉

90 菓づくりの町めぐり
富山・菓づくりの町(池田屋安兵衛
商店、富山市民俗民芸村)〈富山県〉

海外

ゆかり

の地

95 魯迅が師と仰ぐ藤野厳九郎の記念館
藤野厳九郎記念館〈福井県〉

96 中国からのタイムカプセル
国宝・安国寺経蔵〈岐阜県〉

97 ノーベル文学賞・莫言氏ゆかりの地
称念寺〈愛知県〉

98 中国式霊廟の藩祖のお墓
定光寺〈愛知県〉

99 陳元賛とのゆかりの地
建中寺〈愛知県〉

100 タイ王国とゆかりの地
日泰寺〈愛知県〉

101 春節を祝う名古屋の祭典
春節祭〈愛知県〉

102 中国との外交発祥の地
愛知県体育館〈愛知県〉

103 徐福が見た日本の原風景
徐福の宮〈三重県〉

主 要 経 済 指 標

項 目	鉱工業生産指数 (季節調整値)				大型小売店販売額				乗用車新車登録・届出台数			
単 位	平成17年 = 100、%				億円、%		百万円、%		台、%		台、%	
地 域	全 国		北 陸		全 国		北 陸		全 国		北 陸	
	指 数	前期比	指 数	前期比	金 額	前年比	金 額	前年比	台 数	前年比	台 数	前年比
平成24年	91.9	99.7	106.2	101.0	195,916	99.2	355,257	96.4	4,566,315	129.7	137,921	131.4
24年 5 月	92.2	96.6	106.1	100.7	15,755	99.2	28,448	97.9	337,576	168.6	10,236	166.3
6 月	92.6	100.4	107.8	101.6	15,682	97.4	28,430	95.9	432,188	146.8	13,429	146.2
7 月	91.7	99.0	107.2	99.4	17,123	95.6	29,808	93.4	444,845	142.4	13,158	143.5
8 月	90.2	98.4	106.2	99.1	15,568	99.1	29,409	98.9	315,519	115.6	9,198	113.0
9 月	86.5	95.9	107.6	101.3	14,700	98.9	26,080	96.9	377,298	96.4	11,089	100.0
10月	87.9	101.6	103.4	96.1	15,672	96.8	27,882	94.7	298,765	93.3	8,562	93.0
11月	86.7	98.6	103.3	99.9	16,630	100.8	29,928	98.5	323,885	100.2	9,094	101.9
12月	88.8	102.4	106.9	103.5	21,048	100.1	36,890	101.1	283,685	98.1	7,209	98.2
25年 1 月	89.1	100.3	101.1	94.6	16,872	96.5	32,961	95.1	331,462	92.7	8,078	96.5
2 月	89.6	100.6	107.4	106.2	14,239	96.3	26,827	96.1	412,332	91.9	12,862	95.9
3 月	90.4	100.9	109.7	102.1	16,598	102.5	29,369	100.0	569,718	89.6	22,156	89.2
4 月	95.9	100.9	109.2	99.5	15,508	97.7	28,140	97.5	308,357	100.8	9,166	98.3
5 月	p97.8	p102.0	—	—	p15,889	p99.6	p28,590	p97.5	308,020	91.2	8,802	86.0
資 料	経済産業省		中部・近畿経済産業局		経済産業省		中部経済産業局		北陸財務局			

pは速報値

項 目	新設住宅着工戸数				有効求人倍率		消費者物価指数 (総合)			
単 位	千戸、%		戸、%		倍率(季調値)		平成22年 = 100			
地 域	全 国		北 陸		全 国	北 陸	全 国		金 沢 市	
	戸 数	前年比	戸 数	前年比	倍 率	倍 率	指 数	前年比	指 数	前年比
平成24年度	893,002	106.2	15,680	98.3	0.82	—	99.7	100.0	98.6	99.3
24年 5 月	70	109.3	1,473	94.7	0.80	1.02	100.1	100.2	99.0	99.6
6 月	73	99.8	1,203	78.7	0.81	1.04	99.6	99.8	98.7	99.1
7 月	75	90.4	1,363	76.4	0.81	1.03	99.3	99.6	98.1	98.8
8 月	78	94.5	1,291	82.2	0.81	1.03	99.4	99.6	98.2	98.8
9 月	74	115.5	1,395	110.7	0.81	1.03	99.6	99.7	98.4	99.0
10月	84	125.2	1,451	100.5	0.81	1.02	99.6	99.6	98.3	99.0
11月	80	110.3	1,451	118.8	0.82	1.01	99.2	99.8	98.1	99.3
12月	76	110.0	1,280	102.0	0.83	1.02	99.3	99.9	98.1	99.4
25年 1 月	69	105.0	1,073	125.4	0.85	1.03	99.3	99.7	97.8	99.0
2 月	69	103.0	1,130	123.0	0.85	1.04	99.2	99.3	97.8	99.2
3 月	71	107.3	1,383	125.6	0.86	1.05	99.4	99.1	98.0	98.9
4 月	78	105.8	1,548	130.4	0.89	1.08	99.7	99.3	98.5	99.0
5 月	80	114.5	1,452	98.6	—	—	99.8	99.7	p98.5	p99.5
資 料	国土交通省				厚生労働省	北陸財務局	総務省		石川県統計課	

pは速報値

主 要 経 済 指 標

項 目	企 業 倒 産							
	件 数				負 債 総 額			
単 位	件、%				億円、%		百万円、%	
地 域	全 国		北 陸		全 国		北 陸	
	件 数	前年比	件 数	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
平成24年	12,124	95.3	350	107.0	38,346	106.7	186,857	223.9
24年 6 月	975	83.7	19	42.3	1,816	84.0	4,407	54.4
7 月	1,026	95.0	32	145.4	7,241	327.7	7,986	305.7
8 月	967	94.3	30	125.0	2,166	27.3	27,329	444.0
9 月	931	93.1	20	77.0	1,746	82.3	4,427	39.0
10月	1,035	106.0	40	166.6	2,394	153.5	10,087	507.1
11月	964	88.1	34	141.6	2,638	140.5	87,059	4,831.2
12月	890	87.3	29	131.8	2,083	58.5	17,347	86.9
25年 1 月	934	94.6	31	129.1	2,246	64.3	12,042	318.7
2 月	916	88.3	22	84.7	1,720	27.3	2,622	48.6
3 月	929	80.1	28	75.7	1,591	47.7	2,926	31.9
4 月	899	89.6	18	94.3	6,860	299.6	4,640	59.2
5 月	1,045	91.1	31	100.0	1,733	61.4	3,918	56.5
6 月	897	92.0	32	168.4	3,837	211.2	7,423	168.4
資 料	東京商工リサーチ							

平成25年春の叙勲受章者

平成25年春の叙勲・褒章で、本会会員より次の方が受章されました。
栄えあるご受章を心からお祝い申し上げますとともに、今後とも一層の
ご活躍をお祈りいたします。

(敬称略)

【叙勲】 【旭日双光章】

森 政 雄 リードケミカル株式会社 代表取締役社長

北 経 連 日 誌

〔主要行事〕

(4月・5月・6月)

開 催 日	行 事	場 所
4月12日(金)	第1回 広域観光推進委員会	金沢市
5月20日(月)	富山県北陸新幹線対策連絡協議会・ 北陸新幹線建設促進富山県民協議会合同決起大会	富山市
5月21日(火)	北陸新幹線建設促進大会・ 平成25年度 北陸新幹線建設促進同盟会総会、及び中央要請	東京都
5月27日(月)	第91回 理事会	金沢市
	平成25年度 定期総会	
6月3日(月)	富山県並行在来線利用促進協議会	富山市
6月15日(土)	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会	福井市
6月19日(水)	第1回 高信頼システム情報交換会・北陸	金沢市
6月20日(木)	第1回 次世代ロボット研究会・北陸	小松市

新 会 員 紹 介

(入会順)

エムオーツーリスト株式会社

会 社 概 要

- ・会 社 名 エムオーツーリスト株式会社
- ・代表者名 代表取締役社長 泉 肇 (いずみ はじめ)
- ・所 在 地 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル15階
TEL 03-3432-7232
- ・設 立 1960年 8 月
- ・資 本 金 2 億5000万円
- ・従業員数 250名
- ・事業内容 旅行業 (法人向け海外ビジネストラベル手配・
ビジネストラベルマネジメント・団体旅行企画
手配等) URL <http://www.mo-tourist.co.jp/>
- ・事業所 (国内店舗)
本店 (東京都港区)、三井物産ビル支店 (東
京都千代田区)、名古屋支店 (名古屋市中村
区)、豊田支店 (愛知県豊田市)、大阪支店
(大阪市北区)、福岡支店 (福岡市博多区)
(海外店舗)
アメリカ (ニューヨーク、レキシントン、エバ
ンズビル、ハンツビル、ロサンゼルス)、イギ
リス (ロンドン、ダービー)、フランス (パロン
シエンヌ)、チェコ (プラハ)、ロシア (サンク
トペテルブルグ)、中国 (天津)、シンガポール

会 社 紹 介



代表取締役社長
泉 肇

当社は1960年に
三井グループ各
社、住友グループ
各社のビジネスト
ラベルの取り扱い
を目的に設立さ
れ、常に高いコン
プライアンスと企
業倫理の精神に基

づき、ビジネストラベルに特化した業務
を通して信頼と実績を築いてきました。
現在では三井・住友グループを超えた取
り扱いも多く、特に海外進出を考えられ
ている企業に対し、入国のビザのみなら
ず現地での広いネットワークを通じ会社
設立を法務・税務面でサポートするサー
ビスを提供することにより、企業の国際
化に貢献しています。

株式会社 トーホーフードサービス

会 社 概 要

- ・会 社 名 株式会社
トーホーフードサービス
- ・代表者名 代表取締役社長
淡田 利広 (あわだ としひろ)
- ・所 在 地 兵庫県神戸市東灘区
向洋町西5丁目9番
TEL 078-846-0638
- ・売 上 1,970億円 (グループ連結)
- ・グループ従業員数 2,130名
(嘱託・パートタイマー等
2,255名)
- ・事業内容 外食産業への業務用食品
卸売業
- ・事業所 31都道府県 50拠点
(グループ業務用卸事業
会社 9社 34都道府県
59拠点)



代表取締役社長
淡田 利広

会 社 紹 介

トーホーグループは、「食を通して社
会に貢献する」という経営理念のもと、
「美味しさ」そして「安心・安全、健
康、環境」をキーワードに「外食、中
食、内食」の「食」の様々なシーンを支
える企業として外食事業者の皆様のお役
に立つ商品・サービスの提供に努めてお
ります。

「健康で潤いのある食文化に貢献す
る」の考え方にに基づき、外食ビジネスを
営むお客様のニーズに合った業務用食材を調達しお届けするの
が私たちの事業です。

食のプロにお応えする拘りの業務用食品のデリバリーから、
食のトレンドにあわせたメニュー提案、新商品情報の提供、業
務効率化につながるシステムの提案まで、外食ビジネスをトー
タルにサポートしお客様の繁盛づくりをお手伝いいたします。

株式会社 日立ビルシステム 北陸支社

会 社 概 要

- ・ 会 社 名 株式会社 日立ビルシステム 北陸支社
- ・ 代表者名 北陸支社長 矢嶋 高行（やじま たかゆき）
- ・ 所 在 地 石川県金沢市西念1丁目1番3号
コンフィデンス金沢4階
TEL 076-231-0813
- ・ 会社設立 昭和31年10月1日
- ・ 資 本 金 51億509万円（全額日立製作所出資）
- ・ 従業員数 95名（北陸支社）
- ・ 事業内容 エレベーター、エスカレーター、空調装置、電気設備等その他ビル設備に必要な機器の販売、据付、保全、改造修理、更新及び設計
- ・ 事 業 所 本社（東京都千代田区）
北陸支社内営業所
金沢営業所（石川県金沢市）
能登営業所（石川県七尾市）
加賀営業所（石川県加賀市）
富山営業所（富山県富山市）
高岡営業所（富山県高岡市）
福井営業所（福井県福井市）
敦賀営業所（福井県敦賀市）

会 社 紹 介



北陸支社長
矢嶋 高行

当社は人とビルの「いい関係」をプロデュース、時代の先を見つめたソリューションでビルの価値を高めます。

IT革命、超高齢化社会への迅速な対応が求められる21世紀。今、ビルやマンションをとりまく環境は大きく変わりつつあります。日立ビルシステムは、時代をとらえた高度な技術とノウハウで、オフィスやマンションで暮らす人達のライフスタイルに合わせてより安全で快適な環境づくりを提案します。

会宝産業株式会社

会 社 概 要

- ・ 会 社 名 会宝産業株式会社
- ・ 代表者名 代表取締役社長
近藤 典彦（こんどう のりひこ）
- ・ 所 在 地 石川県金沢市東蚊爪町1丁目25
TEL 076-237-5133
- ・ 設 立 昭和44年5月
- ・ 資 本 金 57百万円
- ・ 従業員数 80名
- ・ 事業内容 使用済自動車の引取・解体・破碎前処理など
中古車・中古自動車部品の輸出・販売
- ・ 事 業 所 本 社（石川県金沢市）
東京営業所（東京都港区）
千葉営業所（千葉県四街道市）

会 社 紹 介

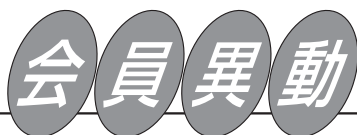


代表取締役社長
近藤 典彦

中古自動車部品の輸出では、延べ71カ国への輸出実績があり、また、タイ・シンガポール・ケニア・ナイジェリア・ガーナに合弁会社があります。

2010年には中古自動車部品としては世界初となる品質基準「JRS (Japan Reuse Standard)」を開発いたしました。

「あいさつ日本一 きれいな工場世界一」をモットーに、自動車リサイクルを通してグローバルな循環型社会の構築に貢献します。



(敬称略)

代表者名変更

		新		旧
アジア航測株式会社 北陸支店	支 店 長	大 竹 日出男	顧 問	松 田 弘 治
NTTコミュニケーションズ株式会社 北陸支店	支 店 長	金 丸 雅 人	支 店 長	多 々 俊 和
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 北陸支社	執 行 役 員 北陸支社長	西 野 一 郎	支 社 長	廣 兼 実 俊
加越能バス株式会社	取締役社長	桑 名 博 勝	代表取締役社長	川 岸 宏
株式会社金沢名鉄丸越百貨店	代表取締役社長	黒 野 友 之	相 談 役	久 内 宏
株式会社ケーブルテレビ富山	代表取締役社長	本 林 敏 功	代表取締役社長	松 波 孝 之
三協立山株式会社	相 談 役	川 村 人 志	社 友	要 明 英 雄
ジェイ・バス株式会社	代表取締役社長	清 水 和 治	代表取締役社長	團 野 達 郎
第一ファインケミカル株式会社	代表取締役社長	大 島 悦 男	顧 問	岡 田 照 美
大和証券株式会社 金沢支店	支 店 長	田 中 義 一	支 店 長	倉 地 伸 也
電気化学工業株式会社 北陸支店	支 店 長	梅 田 辰 也	支 店 長	倉 又 孝 雄
株式会社東芝 北陸支社	支 社 長	國 清 敏 之	支 社 長	石 井 八 弥
富山エフエム放送株式会社	代表取締役社長	小 山 孝 義	代表取締役社長	北 川 敏 範
西日本電信電話株式会社 北陸事業本部	事業本部長	富 森 浩 治	事業本部長	森 英 俊
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	執 行 役 員 金沢支社長	野 中 雅 志	執 行 役 員 金沢支社長	三 浦 勝 義
日本航空株式会社 金沢支店	金沢支店長	伊 東 芳 隆	金沢支店長	竹 田 亨
株式会社福井銀行	取 締 役 兼 代表執行役 頭	伊 東 忠 昭	取締役会長	毛 利 俊 則
福井経済同友会	代 表 幹 事	江 守 康 昌	代 表 幹 事	田 中 保
福電興業株式会社	代表取締役社長	佐々木 静 夫	代表取締役社長	小笠原 武 見
富士電機株式会社 北陸支社	北陸支社長	渡 辺 高 志	北陸支社長	平 瀬 泰 晴
ホテルグランテラス富山	総 支 配 人	世 良 誠 規	総 支 配 人	佐 賀 勇 悦
三井住友海上火災保険株式会社 富山支店	富山支店長	小 嶋 俊 彦	富山支店長	中 込 洋
三井住友信託銀行株式会社 金沢中央支店	支 店 長	中 島 淳 一	支 店 長	竹 内 靖
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 富山支店	支 店 長	山 田 和 博	支 店 長	石 原 信 次
株式会社明電舎 北陸支店	支 店 長	関 根 一 弘	支 店 長	望 月 達 樹

代表者役職名変更

		新		旧
株式会社インテック	最 高 顧 問	中 尾 哲 雄	代表取締役 最高責任者	中 尾 哲 雄
株式会社かんぽ生命保険 北陸エリア本部	北陸エリア 本 部 長	西 川 久 雄	統括支店長	西 川 久 雄
福井放送株式会社	取 締 役 最 高 顧 問	坪 田 清 則	代表取締役 会長	坪 田 清 則
北陸コンピュータ・サービス株式会社	会 長	徳 野 光 宏	代表取締役 社長	徳 野 光 宏

住所変更

	新	旧
株式会社アビリティ	〒939-0102 高岡市福岡町三日市225-1 T E L : 0766-64-5557 F A X : 0766-64-5559	〒939-0115 高岡市福岡町下蓼新467番地 T E L : 0766-60-7111 F A X : 0766-60-7110
出光興産株式会社 販売部 (TEL、FAX変更なし)	〒100-7028 東京都千代田区丸の内2丁目 7番2号 JPタワー28F	〒100-8321 東京都千代田区丸の内 3-1-1
株式会社スギヨ (TEL、FAX変更なし)	〒926-8603 七尾市西三階町10号4-1	〒926-0041 七尾市府中町員外27番地1
株式会社プランニングMay	〒930-0261 中新川郡立山町大石原236 T E L : 076-461-4128 F A X : 076-461-4128	〒930-0003 富山市神通本町1丁目8番7号 T E L : 076-411-9670 F A X : 076-411-9670

新規会員ご紹介のお願い

「自然と都市機能とが共生する、
世界に開かれた産業・文化・交流の拠点
“北陸”」の実現を目指す“北経連”への
新規会員ご紹介をお願いいたします。

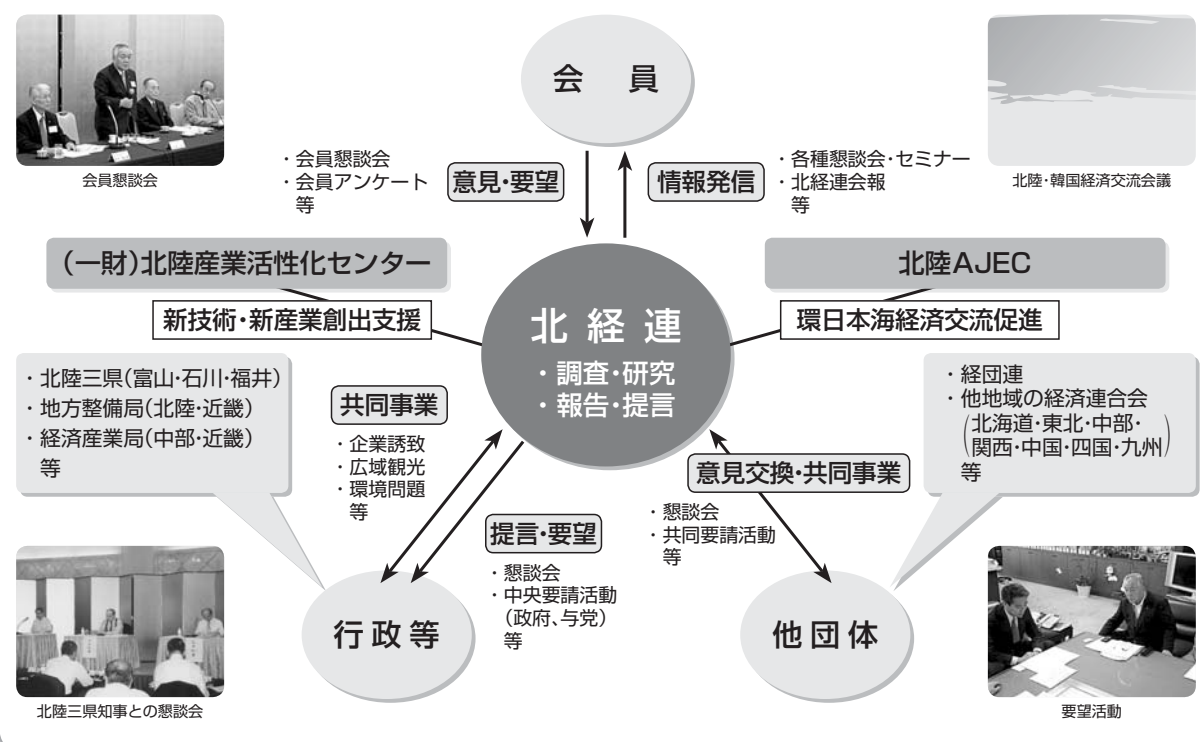
富山、石川、福井の三県からなる北陸地域は、急速に発展している東アジア諸国と日本海を介して対面しているとともに、東京、名古屋、大阪の三大都市圏に対して扇の要に位置しております。また、特色ある産業・技術の集積や豊かな自然環境、多彩な歴史・文化など多くの優れた地域特性を有しており、日本と対岸諸国との結節点として、更なる発展の可能性を秘めた地域であります。

私ども北陸経済連合会（略称：北経連）は、北陸三県をはじめとする関係機関と連携を図り、北陸新幹線や高規格幹線道路、港湾などの社会資本整備の促進、環日本海経済交流の促進、産業の振興支援、地方分権の推進等に積極的に取り組んでおります。

地域の主体性がますます重要となっている今日、これまで以上に北陸三県の経済界の総力を結集し、関係機関との連携、協働を進めていかなければなりません。

北経連の活動にご賛同いただける企業・団体の皆様のご紹介を、心よりお待ちしております。

活動状況



会員の皆様へ

北陸地域の明るい未来創造に向けた活動に一社でも多く参加していただけるよう、会員を増強し、連帯の輪を広めたく、各会員の皆様方はじめ関係各位におかれましては、関連企業や取引先企業などのうち、当連合会に未加入の企業の方々に広くお声を掛けていただき、入会ご意向のある企業を事務局まで是非ご紹介賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

入会ご希望の皆様へ

- 入 会 資 格：本会の目的にご賛同いただける法人、団体および個人。
- 入 会 金：不要です。
- 年 会 費：1口 90,000円（1口以上）
- 入会お申し込み：下記、当会事務局までご連絡ください。

北陸経済連合会

〒920-0981
金沢市片町2-2-15
北国ビルディング4階
TEL 076-232-0472
FAX 076-262-8127
HP <http://www.hokkeiren.gr.jp/>
E-mail: info@hokkeiren.gr.jp

東京事務所
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-8-1
(北陸電力(株)東京支社内)
TEL 03-3502-0471
FAX 03-3502-0460



編集後記

蒸し暑い毎日が続いていますが、体調がすぐれない方はいらっしゃいませんか。

知人の話ですが、家の中にいて急に気分が悪くなり、救急車で病院へ運ばれたところ、やはり熱中症にかかっており、点滴を受けたそうです。

ニュースでも流れていますが、身近で起こると怖いものです。

過ごしやすい環境と、十分な水分補給に気を付けて、これからの夏を乗り切りましょう。

ご意見・ご感想を

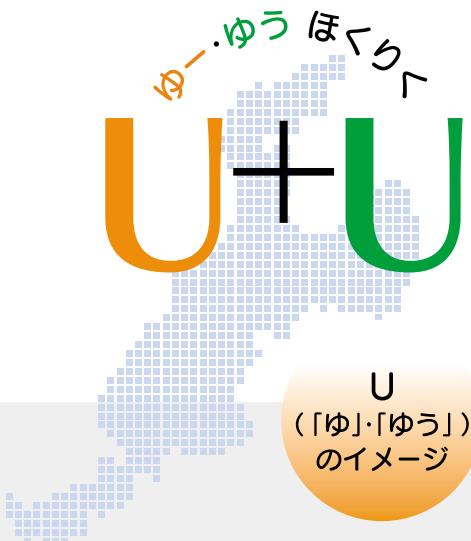
本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしています。また、送付宛先などの変更や新規加入希望の方の情報をごございましたらお知らせください。連絡先はいずれも次のとおりです。

北陸経済連合会

〒920-0981
金沢市片町2丁目2番15号
北国ビルディング4階
TEL: 076-232-0472
FAX: 076-262-8127
URL: <http://www.hokkeiren.gr.jp>
E-mail: info@hokkeiren.gr.jp

目指すべき北陸像

自然と都市機能とが共生する、世界に開かれた産業・文化・交流の拠点



Hokuriku

Uniqueness and Unity Hokuriku

北陸3県がそれぞれ持つ個性、多様性を大切にしながら、
北陸が一つのまとまりとして、
東アジアの経済発展とともに成長していくというメッセージ

- 湯（温泉）
- 裕（豊かさ、生活環境の良さ）
- 優（優雅、優美等）
- 遊（あそび）
- 雄（雄大な自然）
- 友（親しみやすい、加賀友禅等の伝統）
- 悠（ゆったり）
- 勇（勇敢なチャレンジ）
- 夕（夕日の美しさ）
- YOU（あなたへ）